

# 空き家・空き店舗の活用にあつた 3つの充実サポート制度！

台東区は、「台東区北部地域」の空き家・空き店舗や公共空間の活用を通じたリノベーション型まちづくりを推進しています。空き家・空き店舗等を活用するリノベーションの手法を用いて、地域産業や商店街の活性化、飲食店をはじめとした生活利便施設の誘導を図りながら、「人々が共生し住み働き続けられる便利なまち」の実現を目指していきます。



## 台東区空き家・空き店舗 リノベーション準備助成金

通称  
お片付け  
補助金！

- ・残置物撤去費用、清掃費用等の貸し出す上で必要な費用の助成
- ・最大50万円、助成対象経費の2分の1を助成
- ・対象者：対象地域内の空き家・空き店舗所有者
- ・対象地域：日本堤1・2丁目、東浅草2丁目、清川1・2丁目、橋場1・2丁目



## リノベーション型店舗開設支援事業

- ・開業に必要な改修費の一部を補助
- ・最大200万円、助成対象経費の1/2
- ・対象者：対象地域内で開業を予定している中小企業者
- ・対象：日本堤1・2丁目、東浅草2丁目、清川1・2丁目、橋場1・2丁目



## リノベーションパートナー制度

空き家・空き店舗の改装に関わる民間事業者  
(不動産業者、内装デザイナー、設計事務所など)を  
区から直接紹介する制度です。

そんな軽い気持ちでご相談ください

# 「空き家、かすがも、かさんかむ。」

お問い合わせ先

台東区 地域整備第二課

電話：03-5246-1366 FAX：03-5246-1359

toiawase-seibi2@city.taito.tokyo.jp

お問い合わせいただく際は

必須事項：氏名・住所・連絡先(TELorFAX番号)をご記入ください



詳しくは  
コチラ！

2026年6~7月に、北部地区の  
空き家・空き店舗の全戸調査を  
実施致します。

ご協力をよろしくお願いいたします。

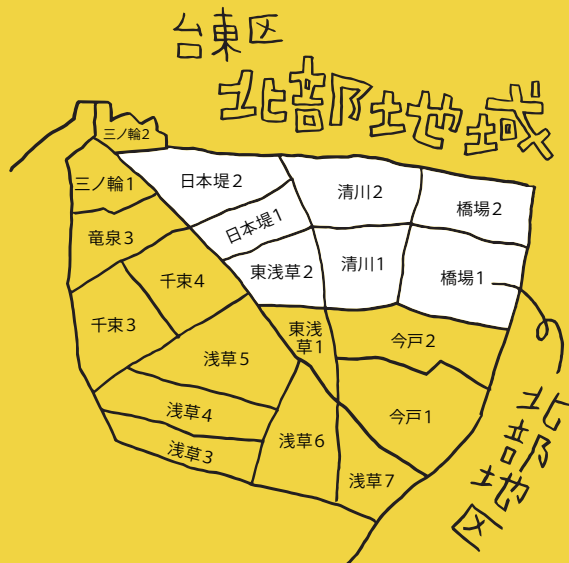
回覧										
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

裏面へつづく

# 空き家・空き店舗 リノベーション事例紹介



2021年から活動をスタートし、これまでに5件の空き家・空き店舗でのマッチングが実現。まちへの想いをもった、素敵な事業者の皆さんが活用を開始しました！



“この人なら“と思える関係づくりから  
空き家活用までをサポートします！

## 活用までの流れ (SANT JORDIの物件オーナー 清水さんの場合)

<p>① 台東区に相談</p>	<p>④ オーナーと事業者の面談</p> <p>どんなお店? まちとの接点は? ために使ってみる? 入居時期は?</p>	<p>花と本屋 「SANT JORDI」 2024年 開店</p> <p>市川さんは「まちの日常を花で彩り、人の心をつなぐ場を作りたい」という想いでお店をオープン。面談とお試しの貸出期間を設けたことで、お互いの人柄やまちへの想いを共有することができました。清水さんは、クリエイティビティあふれる市川さんの活躍を楽しみにしているそうです。</p>
<p>② 希望条件などのすり合わせ</p> <p>片づけはどうしよう? 貸すならこんな人がいいな 賃料はこれくらいで... ok!</p>	<p>③ 物件情報やオーナーの「想い」を発信!</p> <p>Web SNS チラシ</p>	

## その他の活用事例



お茶スタンド「スロープ」  
松本さん・加藤さん  
元焼き鳥屋さんをリノベーションして2025年に開店したお茶スタンド。ご近所さんがホッと一息つけるお店として早くも重宝されています。



「スロープ」の物件オーナー  
森下さん  
地元であるアサヒ会通りに新しい循環が生まれればと貸出しを決心。契約形態についてプロのアドバイスをもらえたことが、安心に繋がったそうです。

タイトーカタリズムが目指すまちづくり



便利さに支えられながら、顔の見える関係と小さな出来事が重なっていく。なんとなく外に出たくなる。ふと寄り道したくなる。そんな過ごし方の選択肢が、日常の中に増えていくまち。

活動詳細・最新情報は  
こちらをチェック!



Instagram